

1982年 10月 15日

親愛なる ロビン ウェステイン

昨日の電話での会話に引き続いて、以下は私の新しい本の写し、禅の路を行くで、自伝の段落に“優柔不断の禅”として、嶋野 タイ 栄道が如何にしてハワイを去ったかでは無く、どのような経路でハワイへ来たかと言う詳しい経緯が載っています。
115ページ参照。

更に、1980年出版、盲目驢馬の第6巻、第3項には私の提唱、“セックスの乱用を止めよ”が書かれています。 ページ27に述べた私の所見に注目して下さい。

貴方の禅仏教に関する質問に少し詳しく答えて、セックスの利己的利用に関する特殊性を説明します。 禅教師として、彼又は彼女が効果的な役割を果たす為には、信頼されていなければなりません。 深い体験を求め、弟子は自己を忘れる事を要求されるのですから、この師弟間の信頼は確かなものでなければなりません。 もし師に自己的利用の下心があるならば、勿論、汚らわしい舞台へと進展してしまいます。 この舞台装置は、精神科医と患者、学園の教師と生徒、殆どの宗教に置ける聖職者と教徒などの間柄でもこれと似た機会に遭遇します。

ジョージ ザウナスや他の人々に送った手紙の中で私は、禅スタディ ソサイエティは坐禅会を続け、熟練した人を交えて安寧化をはかるべきであると勧めました。 皆にとって辛い時期だと思います。 宋淵老師でさえ反嶋野の言葉をはっきり表明したのですが、皆に対する彼の心痛、否定的なエネルギーの中で住まう人々に対する彼の心痛が思いやられます。 これは私達の気持ちも同じです。 なんとか良い経路が開かれますように。

頑張ってください！

合掌

ロバート エイトケン

追伸 よければ私の文章を使って下さい、しかし第3項以上を引用又は要約する場合、全文を使用して下さい。